

もっと知りたい!

# 遠野の予算

The description of Tono city budget .

## Contents

- P2\_ 施政方針演述概要
- P3\_ 予算の特徴
- P4\_ 収入と支出のバランス
- P6\_ 主な事業を紹介
- P8\_ 貯金・借金の推移

テーマ

新たな拠点を形にし、  
未来へつなぐ予算

平成27年度一般会計予算総額

210.8,000 億円



# 地方創生を追い風に、前へ!

平成27年3月遠野市議会定例会で、  
本田敏秋遠野市長が表明した  
「遠野市長施政方針演述」の概要をお知らせします。

※施政方針とは、新年度の市政運営に対する考え方や主要な事業について示すものです。

**今**年は、「新遠野市」として新たな歴史を刻む10周年を迎えます。平成27年度は、現在の市総合計画の最終年度でもあります。現総合計画の総仕上げの年として、事業の十分な検証と確実な推進に取り組み、次期総合計画につなげる極めて重要な年です。

**特**に、緊急的優先課題として掲げている「地域経済の振興と雇用の確保、交流人口の拡大」と「子育てするなら遠野、少子化対策と教育環境の整備」の2つの課題は、「継続」「現場」という視点を大事にして、着実に事業を推進します。

**平**成27年度予算は「新たな拠点を形にし、未来へつなぐ予算」と位置付け、総額210億8,000万円の大型予算といたしました。これは、▷現総合計画の総仕上げ▷新たな拠点となる本庁舎整備、市民センター大規模改修▷2つの緊急的優先課題への対応一を強化するため、集中と選択を基本に据えて編成したものです。同時に、

補助金の見直しや職員人件費の抑制にも努めてまいります。

**遠**野市総合計画基本構想の5つの大綱別に、主要な施策について説明します。(具体例はP6・7を参照ください)

**大綱1**「自然を愛し共生するまちづくり」について。「新エネルギービジョン」「遠野市景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用と調和に関する条例」に基づき、再生可能エネルギーの普及を図ります。また、携帯電話の不感地域の解消、市道の橋梁点検、生活に身近な道づくりなどを行い、道路基盤の充実、快適な住環境の形成に取り組みます。

**大綱2**「健やかに人が輝くまちづくり」について。各種健康づくり事業を推進し、健康寿命の延伸策などに取り組みます。また、保育料の軽減、各種ワクチン接種費用の助成を行うなど、子育て支援に取り組みます。さらに、来年に開催される「希望郷いわて国体」サッカー少年男子競技に向け、リハーサル大会を開催します。

**大綱3**「活力を創意で築くまちづくり」について。市民所得の向上を目指し、「産業と農林畜産業の活性化」に取り組みます。農地中間管理事業を活用した生産基盤の整備や維持、需要が見込まれる飼料用米の作付け拡大の支援などに取り組み、農村コミュニティの維持・発展を推進します。また、東北横断自動車道釜石秋田線の全通など、インフラ整備をチャンス

## 地方創生とは?

政府が掲げる政策テーマの一つ。少子高齢化の進展に的確に対応し、地方がそれぞれの特徴を活かして自律的で持続的な社会を創生できるよう、国がさまざまな施策で支援するもの。

と捉え、産業振興戦略の立案に取り組みます。

**大綱4**「ふるさとの文化を育むまちづくり」について。国指定重要文化財「千葉家住宅」の保全や、国の重要文化的景観である土淵町山口集落の水車小屋の保存修理を行い、その活用を推進します。また、本市の歴史を正しく後世に残すため『遠野市史』の編さんに着手します。本年4月から教育委員会制度が大きく変わることを受け、教育環境の整備などをより一層推進し「知・徳・体」の3つの力にあふれる遠野の「わらすっこ」を育てていきます。

**大綱5**「みんなで考え支え合うまちづくり」について。中心市街地に整備する市役所本庁舎については、市民の提言を取り入れながら、市民に愛される本庁舎を目指していきます。また、納税の利便性向上に向け、平成28年度からコンビニエンスストアで市税を納付できるよう、システム改修などに取り組みます。

**地**方創生という国を挙げての取り組みが始まりました。人口減少対策に、国、県、市町村が足並みをそろえて取り組まなければなりません。市民の皆さまと力を合わせ、地方創生の風を追い風に、前へ前へと進めていかなければなりません。次期総合計画を市民の皆さまと共に策定し、地域資源を守り、未来につながるまちづくりを、3万市民の「絆」と共に全力で取り組んでまいります。

平成27年度予算の特徴と「テーマ」

## 新たな拠点を形にし、未来へつなぐ予算

平成27年度一般会計予算総額

前年度比  
31億5,000万円増

210億8,000万円

過去最大!

## 本庁舎と市民センターの2拠点を整備

中心市街地活性化の拠点「市役所本庁舎」整備の本格化、市民協働によるまちづくりの拠点「市民センター」の大規模改修事業の継続により、過去最大規模の予算となりました。「新遠野市」として10年目の今年は、現在の市総合計画の最終年度であり、計画の着実な実行に努めます。特に、緊急優先課題である「地域経済の活性化」と「少子化対策と教育環境の整備」に予算を重点配分しました。予算編成にあたっては▷事務消耗品や光熱水費などの削減▷各種団体などへの補助金の見直し▷市有財産の売却一などにも取り組み、健全財政を維持します。

未来へつなぎます!

遠野市民センター



市役所とびあ庁舎

## 特別会計予算総額 ▶ 91億2,357万円

特別会計	予算額
国民健康保険(保険事業分)	39億7,138万円
国民健康保険(直営診療施設分)	1億6,677万円
後期高齢者医療	3億1,759万円
介護保険(保険事業分)	32億5,353万円
介護保険(介護サービス事業分)	1,651万円
ケーブルテレビ事業	4億4,265万円
農業集落排水事業	8,270万円
下水道事業	8億7,244万円

## 公営企業会計予算

遠野市の水道に係る予算です。  
収入▶ 7億9,230万円  
支出▶ 6億5,001万円

## 特別会計予算とは?

特定の目的のための予算で、国民健康保険税などの収入が財源。そのため一般会計とは別に計算する。遠野市には8つある。

## 公営企業会計予算とは?

民間企業と同じように事業収益を上げて運営している予算。遠野市には水道事業会計予算がある。

## 平成26年度3月補正予算との一体的な編成

切れ目なく事業を実施し、効果を早期に発揮!

## 地方創生関連施策に、切れ目なく対応

国の地方創生関連施策にいち早く対応するため、市は平成26年度3月補正予算に「とおの創生総合推進事業費」約2億円を計上しました。平成27年度事業と共に、切れ目なく事業を実施します。

地方創生関連 平成26年度3月補正予算  
①プレミアム商品券の発行(1事業)  
②地方版総合戦略等の策定(1事業)  
③子育て支援の充実(3事業)  
④地域産業の振興(8事業)  
約2億円

平成27年度予算  
約210億円



過去最大!

210億8,000万円

※端数処理をしているため、下記の合計額とは一致しません

# 収入

## revenue

市の主な収入には、市税や国と県からの交付金、銀行などから借りるお金などがあります。

### ①市税

24億5,742万円 皆さまから納めていただいているお金

### ②繰入金・諸収入等

29億2,741万円 基金(貯金)を取り崩すお金など

### ③地方譲与税・地方消費税交付金・地方交付税等

92億4,746万円 皆さまが国に納めているお金の一部

### ④国や県からの支出金

37億442万円 皆さまが国や県に納めているお金の一部

### ⑤市債

27億4,330万円 銀行などから借りるお金

自主財源

市税や貯金の取り崩しなど、市が自ら得ることができる収入を自主財源(①②)といいます。

依存財源

国や県の基準に基づいて交付されたり、割り当てられたりするお金、借金など、市が自ら得ることができない収入を依存財源(③④⑤)といいます。

## expenditure

教育や福祉、医療のほか、道路整備、災害対応など皆さまの暮らしのために使われます。

# 支出

### ①人件費 31億3,101万円

市職員の給料などに

### ②扶助費 27億7,689万円

生活保護、障がい者の支援、福祉や医療に

### ③公債費 27億4,072万円

借金の返済に

### ④普通建設事業費 46億9,284万円

道路の整備、学校などの建て替えやその補修に

### ⑤災害復旧事業費 4,000万円

自然災害などの復旧に

### ⑥物件費 35億24万円

電気・水道・燃料や事務用品などにかかるお金

### ⑦補助費等 16億3,429万円

各種団体への補助金や負担金などに

### ⑧繰出金 14億9,172万円

特別会計予算(P3)などに

### ⑨積立金等 10億7,230万円

貯金(基金への積立)などに

義務的経費

投資的経費

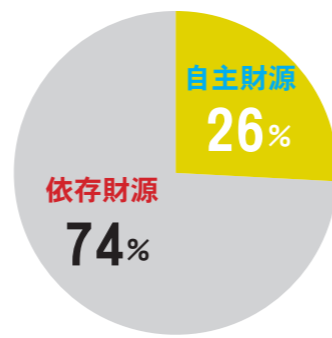
その他経費

## 収入の特徴

### 大規模事業に関連する依存財源が増加

「自主財源」のうち、市税は地価の下落と評価替えに伴う固定資産税の減などから、前年度比2,090万円の減。「依存財源」のうち、地方交付税は本庁舎整備のために交付される震災復興特別交付税(5億7,400万円)などを見込み前年度比6億1,652万円の増、国庫支出金は木質バイオマスエネルギー活用推進事業の委託金や、市民センター大規

模改修事業による社会資本整備総合交付金の増加などにより、前年度比2億8,541万円の増を見込みます。また、市債は市民センター大規模改修事業による合併特例事業債の発行などにより、前年度比8億5,880万円の増を見込みます。依存財源が全体の約74%であり、依然として国などからの補助金に頼る財政状況となっています。

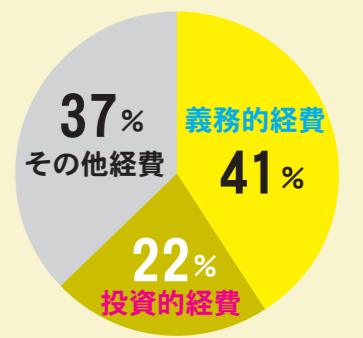


## 支出の特徴

### 人件費と補助費を削減し、財源をねん出

「義務的経費」(表中①②③)は、法令などで義務づけられたお金で、全体の41%を占めています。①人件費は、定員管理計画による職員数の縮減、時間外手当の削減などの取り組みにより前年度比4,542万円の減。②扶助費は、生活保護費や各種医療費給付事業の所要額を見込み、27億7,689万円を確保しました。「投資的経費」(表中④⑤)は

市民が利用する道路や建物の整備、災害に対応するお金で、全体の22%。④普通建設事業費は、市役所本庁舎整備、市民センター大規模改修、岩手国体サッカー会場整備などにより、前年度比22億3,895万円の大幅増となりました。⑦補助費は、各種団体などへの補助金の見直しなどにより、前年度比1億5,707万円の減となります。



市民一人あたりの目的別経費(金額順) ▶ 総額725,895円 ※ ( )は前年度数値。平成27年1月31日現在の人口(29,040人)で算出

COSTS

 総務費 市役所の運営、建設などに 202,280円(97,627円)	 民生費 高齢者や子どもの福祉などに 156,938円(157,332円)	 公債費 借りたお金の返済に 94,377円(86,077円)	 教育費 学校や社会教育などに 65,432円(60,012円)	 農林水産業費 農業、林業、畜産業などの活性化に 60,856円(47,020円)	 土木費 道路や公園などの整備に 49,511円(56,972円)	 衛生費 病気の予防やごみ処理などに 48,102円(51,798円)	 商工費 商業、工業の振興に 21,792円(25,130円)	 消防費 消防・防災、救助活動に 18,364円(17,772円)	 議会費 議会運営に 5,883円(6,057円)	 災害復旧費 災害の復旧に 1,377円(1,362円)	 労働費ほか 雇用の拡大・定着などに 983円(3,390円)
--	---	---	--	--	---	---	---	---	---	--	---

# 27年度に取り組みます！ 主な事業を紹介！

平成27年度の新規事業や主な事業を、  
5つの大綱に分けて紹介します。

## 大綱1

### 自然を愛し 共生するまちづくり

新規！

◎携帯電話等エリア整備事業費  
1億4,870万円



山間部のため携帯電話が利用できない附馬牛町大野平・小出地区と小友町外山地区に基地局を整備し、災害時などの情報伝達を可能にします。

新規！

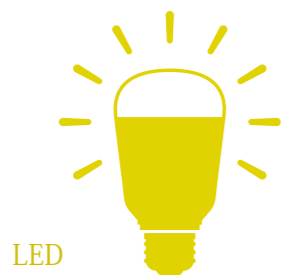
◎清養園クリーンアップ事業費  
2,089万円

ごみ処理施設が9月末に稼働停止し、焼却熱を利用できなくなることから、保養センターのボイラーなどを更新します。

新規！

◎防犯灯LED照明導入調査事業費  
1,465万円

市内に約3,500基ある防犯灯を、省電力で長寿命に優れたLED灯に更新するための調査を行います。



◎国道107号休憩施設整備事業費  
1億1,570万円

釜石自動車道の開通により交通量が増加している国道107号沿いの「産直ともちゃん」のトイレを24時間利用可能な設備に改修し、観光振興と防災機能強化を図ります。

## 大綱2

### 健やかに 人が輝くまちづくり

◎地域医療環境整備事業費  
1,471万円

休日などの診療体制整備のほか、医師確保に向けた活動を行い、地域医療の充実を図ります。

◎ICT健康づくり事業費  
3,775万円

テレビ電話などのICT技術を活用し、遠隔地にいる医師と連携した市民の健康づくり疾病予防を支援します。



◎生活困窮者自立促進支援事業費  
958万円

本年4月に「生活困窮者自立支援法」が施行されることに伴い、生活困窮状態にあり、さまざまな課題がある人への相談に対応します。

◎岩手国体サッカー会場整備事業費  
1億1,100万円



来年10月に開催される「希望郷いわて国体」の会場となる、遠野運動公園陸上競技場や市民サッカー場などの環境整備を実施します。

## 大綱3

### 活力を創意で築く まちづくり

新規！

◎水田フル活用推進事業費  
1,309万円

ブランド米「いわてっこ」や飼料用の遠野産米などの作付け拡大を支援し、農家の所得向上を図ります。



新規！

◎ものづくり産業振興事業費  
482万円

市内中小企業への各種支援や企業懇談会の開催により、地域経済の活性化を図ります。

◎木質バイオマスエネルギー  
活用推進事業費 2億30万円

林野庁の委託を受け、チップボイラーを公共施設などへ導入する実証実験に取り組みます。

## 大綱5

### みんなで考え 支え合うまちづくり

新規！

◎市税コンビニエンスストア  
収納業務費 1,059万円

平成28年度から開始する、コンビニでの市税収納に向け、その準備作業を進めます。

新規！

◎地域おこし協力隊設置事業費  
797万円

「地域おこし協力隊」として都市に住む人を受け入れ、地域を元気にする活動を展開してもらいます。



## 大綱4

### ふるさとの文化を 育むまちづくり

新規！

◎「遠野市史」編さん事業費  
131万円

本市の歴史や文化を正しく後世に残し、未来の指針となる新たな「遠野市史」の編さんに着手します。



新規！

◎文化的景観保存事業費  
1,849万円

国の重要文化的景観に選定されている土淵町山口集落の水車小屋の保存修理などを行います。



◎遠野中学校屋内運動場  
改築整備事業費 1億3,657万円

老朽化が進んでいる遠野中学校の体育館を改築し、生徒が安全に使用できるようにします。

◎市民センター大規模改修事業費  
15億4,331万円

建設から40年経過し老朽化が進む市民センターの建物と設備の大規模改修を行います。

◎本庁舎整備事業費  
14億6,881万円

東日本大震災で全壊した市役所本庁舎を、中心市街地活性化の拠点として新たに建設します。

市民センター大ホールも  
生まれ変わります！

# 貯金・借金の推移

savings & debt

## 実質負担が少ない市債(借金)で対応

本市の財政状況は、公共施設の老朽化に伴う建て替えや中学校再編による増築などの施設整備により、建設事業費が増大。そのため、市債(借金)の返済よりも、新たな借り入れの方が長い年が続いています。

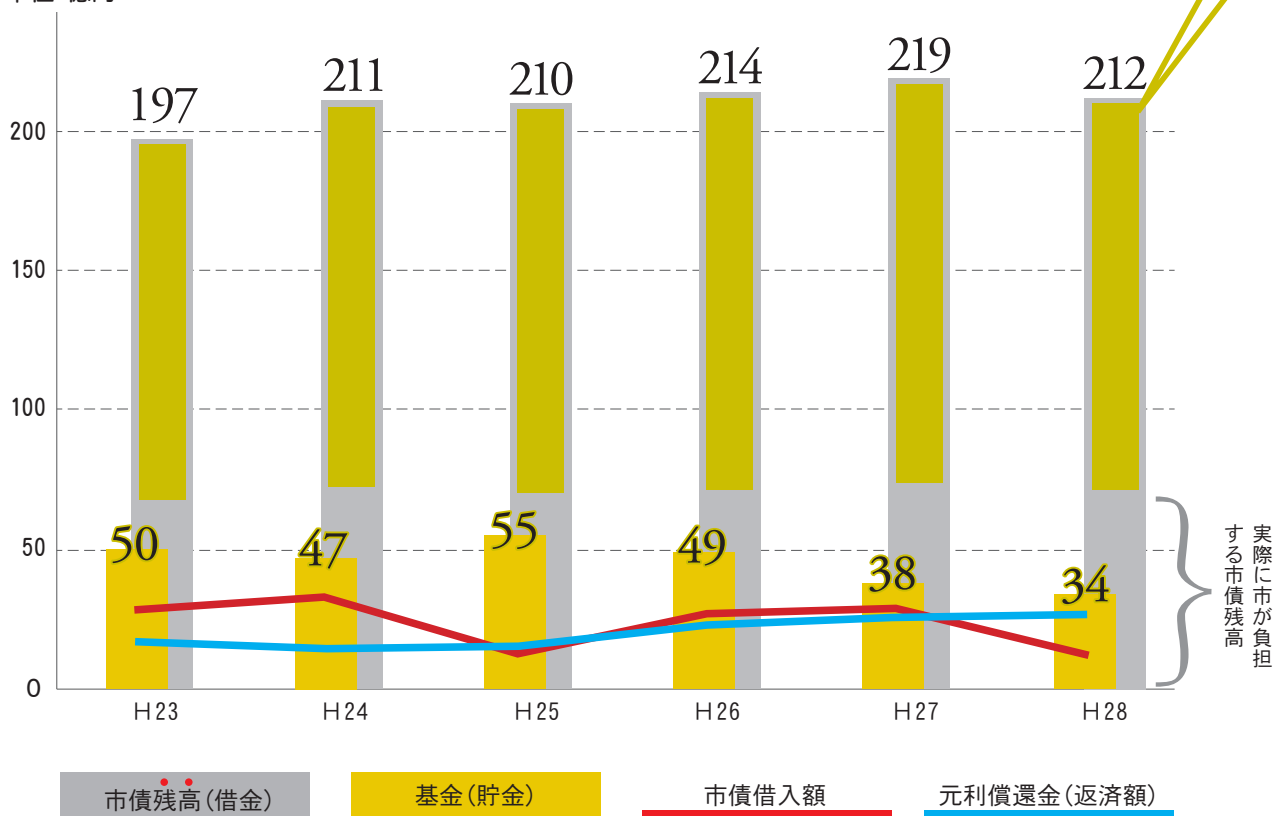
特に、平成27年度は大型建設事業による借入額が多

く、市債残高も多くなります。しかし、借り入れる際は、返済時に国の支援が受けられる市債を選んでおり、実質的な市の負担は市債残高の約3割となっています。平成27年度も、将来の財政負担を見据え、最適な借り入れ方法を選択します。

### 「近年の貯金・借金の推移」

※H26は決算見込額、H27・28は予算額からの試算額

単位:億円



#### 返済時に国が負担!

■は、返済時に国が負担します。よって、市債残高の全てが市の負担となるわけではありません。

### column

## どうして借金をするの?

市は、長期間にわたって使われる道路や市役所庁舎、市民センターなど、公共施設整備のための資金を借り入れ財源にしています。少しずつ、長期間かけて借金を返済することで、公共施設を利用する全ての世代に、公平に費用を負担してもらうためです。

